

風's・風のたよりオンライン版

2001/1/28 No.37

「あなたも私も地球市民」
---自分と世界のつながりを考えよう---
2001年1月28日10:00~17:00
鈴鹿市文化会館さつきプラザ
主催 財団法人鈴鹿国際交流協会
[ホームページ](#)もご覧ください

に参加、フェア・トレード（公正貿易）商品の展示・即売、「フェア・トレードとの出会い」の話もさせてもらう機会を得ました。

■ 喫茶店がない駅!

1月27日近鉄鈴鹿の駅に降り立つ。よしがんばるぞ〜、う、その前にお茶をのんで元気をつけようと喫茶店を探した。?ない?らしきところは閉まっている。週休2日制の喫茶店か? 待ち合わせの時間までに30分しかないのであせった。喫茶店を探すとは思わなかった。鈴鹿の町がこんな小さな町とは知らなかった。ふと、心配になった。明日の「国際理解のつどい」に人が集まるんだろうか...?? でも後で聞くと、鈴鹿には他に白子や平田という大きな町もあり、人口は3つあわせて19万、HONDAの工場があり、南米から働きに来ている人も多いということです。国際理解を進めようと意欲的な町なのかもしれません。さて心配の結果は.....?

■ 展示準備に約3時間

協会事務所から車で移動。会場につき8から9個のダンボールをほどもき、フェア・トレード商品の展示にとりかかりました。荷物をつくり送りだすのも大変ですが、荷解きも結構時間を要します。

職員の方も、SVAのタイ少数民族のモン族の歴史や生活が描かれた大刺繍タペストリー(見て圧巻)を正面入り口に飾り、グローバルビレッジから借りたボリビアのカカオの生産者団体「エルセイボ」の紹介パネルも飾り、他の国際協力関係のポスター・資料も何枚か用意され、関連書籍・ホームページから取り出した資料など、着々と28日の10時開場に備え準備が進みました。

■ 当日28日朝は晴れ!

東京は週末ごとの大雪ということでしたが、鈴鹿は晴れました。ガイアシンフォニーの時大雪で天候のことが心配でした。ホテルの前は海が見え、太陽が昇ってきました。家にいないから仕事から離れることが出来、眠るだけのホテルの一夜は私にとって休みの一

夜になりました。

■ホール前でビラ配り

あれだけ準備したのだから、見ごたえあるから是非、皆に見て欲しいという意気込みで会場に到着。

ちょうど珠算の試験を受けに来ていた子どもたちが待っていた。早速ビラを配り、試食ができるから来てね！と誘った。

彼らの何人かは来てくれたと思う。午前中からそれなりの人が来てくださった。鈴鹿の市長さんものぞいてくださいました。

■ 好評! 試飲・試食コーナー・世界の楽器コーナー

フェア・トレードのコーヒー・紅茶、お菓子の試飲・試食の接待はボランティアさんたち。9時に集合、タイの少数民族の衣装も着ながら奮闘!

鈴鹿在住のGAIAの会の浅田さんが、ケーナ・チャランゴを持参して参加。ナマの演奏を聞かせてくださり、いい雰囲気づくりに貢献。子どもたちも思い思いに「熱帯雨の棒」を傾けて雨の降る音を楽しみ、アマゾンの木の实からできた「チャクチャ」を鳴らしたり、多分楽しんでくれたと思います。

■ 「貿易ゲーム」32名参加!

数日前、8名とか....。その後学校を始めとしてボランティアさんたちが方々に声をかけられたとかで、なーんと32名の参加。熱気ムンムン。まさに「つどい」になってきました。風"sのお店も14の机を使わせて頂き、ボードにインドのミラー刺繍などの大きなタペストリーもかけることができ、売上も上々!!

■ いよいよ私の出番

「フェア・トレードの出会い」の話の時、ゲーム参加の方はかなりの方が帰って、興味ある人だけが残り聞いてくださいました。それでも20名ほどの参加でした。この時間だけを目指して来て下さった方もいらっしゃるようですが、後でゲームの話聞き、参加すればよかったと後悔していました。始め、心の準備が充分でなくて、心のなかで「どうしようー」というスタートを切りましたが、なんとか1時間近く話すことができ、あとは参加者の方から自己紹介しながら一言ずつお話をしてもらいました。企画者としては、参加者の方に一言はメッセージして頂くことは大切だと思います。だから、あまり多くの人の参加ですとそんな時間は無理なので、ちょうどいいくらいかな?と思った今日の会でした。

■ 300名以上の参加! 大成功! 嬉しい!

この大成功の秘密は、秘訣は企画者の熱い思いと周到な準備、そしてボランティアの皆さんたちの力!

正直、驚き驚きです。名古屋のバザーは1日1万から2万くらい。なのに、鈴鹿のバザーは10万以上行きました! 去年も確か10万くらいいきましたよね。私は荷物を送っただけでしたが...。不思議不思議、いえやっぱり熱い思い+準備+ボランティアさんたちの力ですね。

■「国際恐竜」全国行脚を夢みる？

国際恐竜とは？それは帰りの電車のなかで、口がもはや回らなくなった私の口からでた国際交流という意味です。今日の貿易ゲームのファシリテーター(案内役)の山中令子さんと「これで行こう！」と意見一致。NIED・国際理解教育センターの参加型ワークショップとフェア・トレードの展示即売のセットで売り出そう！

買い物は楽しいもの。例え買わなくても見るだけで楽しいフェア・トレードの品々。あとおまけで「フェア・トレードの出会い」の話をつけて全国行脚に出かけよう！「温泉つきがいいね」なーんてことも言いながら、今年の方針は互いに自分の出来る範囲内の仕事をして、それなりの暮らしをしようということ。互いのパートナーに深く感謝をしながらも、ジェンダーのしがらみに悩む二人は、イチゴ大福を名古屋駅で買いそれぞれの家路に向かいました。

■全国の国際交流協会の方に告ぐ！

NIED&風"sの「国際恐竜」を呼んで下さい。楽しい企画です。何より私達自身楽しみたいと思っています。ご一緒に企画の段階から「国際恐竜」の卵を育て、ボランティアのみなさんと孵していきましょう。のっしのっしと現れたら拍手喝采。全国あっちこちに「国際恐竜現る！」というキャッチコピーの記事が新聞に載ったら素敵！という夢を見ながら今日は楽しく休み、明日以降月末の締め切り業務に入る私です。 土井ゆきこ

★フェア・トレードとは....

フェア・トレードとは、発展途上国の有機栽培食品や手工芸品等を、公正な価格で取引し、仕事創りから技術支援もする、世界のNGO(非政府組織)を中心に繰り広げられている草の根交流です。より多くの人々が、フェア・トレードによる商品を選んで買うことが、発展途上国と共に生きる方向が見えてきます。

『GAIAの会』は、1996年5月発足。女と男、老人と若人、障害をもった人と今そうでない人、南と北の国の人、自然と人...「共に生きる」をテーマに互いに学び合いつなげて行こうとする誰でも気軽に参加できる会です。
